農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

西伊豆町長 星野 淨晋

市町村名 (市町村コード)	西伊豆町 (223069)
地域名 (地域内農業集落名)	西伊豆町 (宇久須・田子・中)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月31日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・宇久須、中地区にはまとまった水田や平坦な農地が集中しており、今後の農業振興に欠かせない地域となっている。 ・70歳以上の地権者が過半数を占めており、高齢化が顕著である上に、後継者のいない農業者が後を絶たない。 ・地域内には規模拡大希望者がほとんどおらず、農業をやめたい、規模縮小を希望する者がほとんどのため、荒廃農地の拡大が懸念される。 ・鳥獣被害による耕作意欲の低下が懸念される。

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・耕作者のいない農地については、地区内で耕作者を確保するのが難しい状況であることから、地域外からの就農希望者の参入について検討する。なお、水利がなく日当たりの良い農地についてはアロエ栽培、水利が確保され年間を通じて取水が可能な農地については水田としての活用の推進を検討する。 ・農業者の意向把握を詳細に行い、移住者や大規模事業者をターゲットにして今後の貸付につなげる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	135 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	59 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

<p>農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、山間地にある農地は保全・管理を行う区域とする。</p>

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
意向把握の結果をもとに農地中間管理機構を活用し、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を考慮し、農業委員・推進委員とも話し合いをして段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
集落ごと必要性や意見に応じて対応していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
県やJAなどと協力し、地域内外から経営体・担い手を募集し、振興を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
担い手・経営体のニーズに応じて活用を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--